

別記

第1号様式（第6条関係）

記入例

要保護・準要保護児童生徒認定申請書

申請年月日

令和〇年〇〇月〇〇日

小・中学校別に申請書を提出してください。

この記入例の場合、次郎・三郎分を〇〇小学校に、一郎分を△△中学校にそれぞれ提出します。

申請者（保護者） 住 所 富里市七栄652-1

住所、氏名、電話番号を記入し、押印します。

氏 名 富里 花子 印

電話番号 93-1111

下記の児童生徒について、令和〇年度就学援助費の支給を受けたいので申請します。

就学援助費の支給を受ける年度（申請年度）を記入します。

申請に伴い、生活状況について担当民生委員児童委員が確認することに同意するとともに、収入状況等認定に関し必要な事項について富里市教育委員会が調査することに同意します。また、認定された場合は、就学援助費に係る請求、受領、代金の支払及び返納に関する一切の事務を児童生徒が就学する学校長に委任します。

令和〇年〇月〇日

申請年月日及び申請者（保護者）の住所、氏名を記入し、押印します。

住 所 富里市七栄652-1

氏 名 富里 花子 印

記

1 児童生徒

認定を受ける児童生徒の学校名、学年、氏名、生年月日、保護者（申請者）との続柄、前年度の認定の有無を記入します。

学校名	〇〇小学校				
学 年	氏名	生年月日	保護者との続柄	個人番号	前年度認定の有無
1	富里 三郎	HO.O.O.O	子	個人番号の記入の必要はありません。	有・無
3	富里 次郎	HO.O.O.O	子		有・無
					有・無
					有・無

就学援助費の支給を受ける年度（申請年度）の学年を記入します。

2 児童生徒の同居者（同一の家屋に居住する者及び別居であっても仕送り等で生計を支える者を含む。）

氏名	生年月日	保護者との続柄	勤務先・学校名等	個人番号
富里 花子	SO.O.O.O	本人	(株)〇〇〇	個人番号の 記入の必要はありません。
富里 一郎	HO.O.O.O	子	△△中学校・3年	
富里 太郎	SO.O.O.O	父	無職	
認定を受ける児童生徒の同居者(同一の家屋に居住する者及び別居であっても仕送り等で生計を支える者を含む。)の氏名、生年月日、保護者(申請者)との続柄、勤務先・学校名等を記入します。				

3 申請理由（該当項目に○を付け、理由を記入してください。）

- (1) 生活保護を受けている。 (7) 国民健康保険税の減免を受けている。
 (2) 生活保護が停止又は廃止になって3か月に満たない。 (8) 児童扶養手当の支給を受けている。
 (3) 市町村民税が非課税である。 (9) 世帯更生貸付補助金による貸付を受けている。
 (4) 個人事業税の減免を受けている。 (10) 失業等により生活が困窮している。
 (5) 市民税の減免又は固定資産税の減免を受けている（家屋新築の場合を除く。）。 (11) 学校納付金や学校給食費等の納付が滞っており、生活が困窮している。
 (6) 国民年金保険料の減免を受けている。

就学援助が必要な理由

該当する項目に○をつけ、就学援助が必要な具体的な理由を記入します。

※就学援助が必要な理由を具体的に記入してください。

4 世帯員の収入等の状況

(1) 給与・年金等

氏名	勤務先	収入額（年額）	備考
富里 花子	株〇〇〇	650,000 円	給与
富里 太郎	無職	500,000 円	養老年金
収入がある世帯員（同一の家屋に居住する者及び別居であっても仕送り等で生計を支える者を含む。）の氏名、勤務先、収入額（申請年度の前年の1月1日から申請年度の前年の12月31日までの額）等を記入します。			

遺族年金、児童扶養手当、養育費、仕送り等による収入がある場合に、その額（申請年度の前年中の額）を記入します。

収入がない場合は0円と記入してください。

(2) その他の収入

- ア 遺族年金 ()
 イ 児童扶養手当 (400,000 円／年)
 ウ 養育費 (200,000 円／年)
 エ その他の諸収入 (0 円／年)

5 住居の形態（該当項目に○を付け、必要事項を記入してください。）

(1) 持家

(2) 賃貸（家賃月額 35,000 円）

(1) その他 ()

該当項目に○をつけ、家賃を支払っている場合は、家賃の月額を記入します。

添付書類：申請理由、収入額を証明するもの

収入額を証明する書類には個人番号記載の必要はありません。

収入のある者すべての申請年度の前年の収入を証明する書類（源泉徴収票の写し、確定申告書又は市民税申告書の写し、年金受領額のわかる書類の写し、所得証明書、児童扶養手当証書の写しなど）を添付します。